



教師用指導書のご案内

授業の組み立て方や子どもの支援など実践に即した内容の「朱書編」「図工の授業あんしんブック」、授業研究に役立つ「指導解説編」、学びを広げる「指導者用デジタル教科書（教材）」「QRコンテンツガイドブック」など充実のコンテンツで、先生方の授業づくりをサポートします。

教師用指導書セット内容

朱書編

授業の準備はもちろん教科書紙面と照らし合わせながら活動の流れや評価のポイント、指導の手立てなど授業をイメージできるようにまとめています。

指導解説編

学習指導要領や図画工作科教育の理論について学べる「概論編」と、各題材の授業計画や展開例について詳しく分かる「学習指導案編」を掲載。授業研究に役立ちます。

指導者用デジタル教科書（教材）

電子黒板に映したりポイントを書き込んだりできるデジタル教科書に加え、評価のポイントを解説した動画や編集可能なワークシート、年間指導計画例など豊富なコンテンツを収録。授業をサポートします。

題材系統表

題材を分野・系統別に配列し、一覧できるようにしています。幼児期との接続ページや特設ページとの関連も示しています。

図工の授業あんしんブック

「図画工作の授業がちよっと苦手」「図画工作の授業をもっとよくしたい」という先生を対象にした冊子です。授業の取り組み方のポイントなどをコンパクトにまとめています。

QRコンテンツガイドブック

「KOMA KOMA×日文」「KIRI TORI（キリトリ）」「アートカードアプリ」の使い方、授業での「ずこうたいそう」の取り入れ方など、QRコンテンツの効果的な活用法を紹介します。

アート・カード／解説冊子

「作品」「素材」「言葉」の3種類のカードを使ってアートゲームをすることができます。解説冊子には、作品の詳しい情報や遊び方、学習指導案例などが掲載されています。

大判掲示資料

身近なものの鑑賞、美術作品などを大判ポスターにしました。授業時に教室に貼って指導したり、図工室に掲示して学びを深めたりすることができます。

※セット内容は変更になる場合があります。



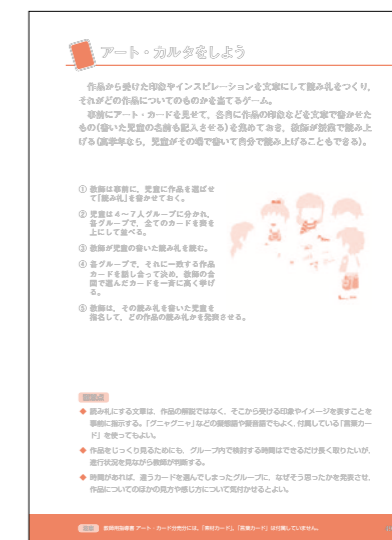
対話が生まれる鑑賞ツール



アート・カード



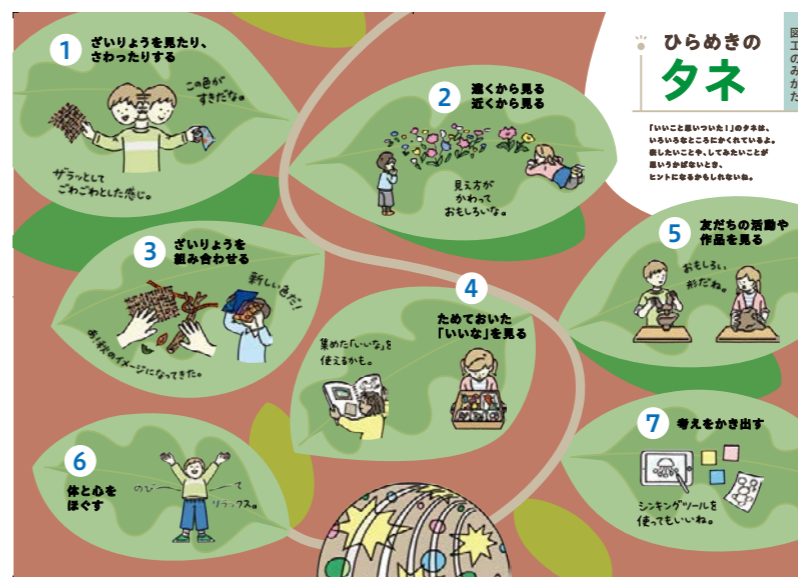
「作品カード」「素材カード」「言葉カード」の3種類のカードを収録。「作品カード」では、美術作品だけではなく、建築や世界遺産まで、他教科との関連にも配慮した幅広い図版を取り上げています。「素材カード」では、身近なものの形や色の面白さや美しさへの気づきを促し、「言葉カード」では、鑑賞の視点になる言葉を示しています。



アート・カード解説

作品の解説、鑑賞を促す発問例、ゲームの仕方、学習指導案などを紹介しています。

大判掲示資料



発想や表現のヒントになる投げかけや美術作品などの大判掲示資料です。黒板に掲示して見せたり、壁に掲示していつでも見られるようにしたり、使い方はさまざまです。

作品の細部まで見える
A1判（ポスター）
サイズ





朱書編

準備から授業当日の流れまで
指導のポイントが分かる

導入・展開・振り返りの流れが見える

学習指導案の簡略版を掲載しました。教科書紙面と合わせて授業の流れを確認することができます。

くるくるクランク

学習指導案の簡略版を掲載しました。教科書紙面と合わせて授業の流れを確認することができます。

子どもの姿が見える

「育てたい子どもの姿」と「資質・能力を発揮する子どもの姿」を3観点5項目で示しています。具体的なイメージをもって授業に臨むことができます。

1) 知識及び技能

① クランクの仕組みを使って、楽しく動くものをつくる。

2) 思考力、判断力、表現力等

② 仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことから、新しいことを発想し、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。

3) 学びに向かう力、人間性等

③ 主体的にクランクの仕組みを使って、楽しく動くものを作る学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする意欲や態度を育てる。

資質・能力を発揮する子どもの姿

・クランクの動きをいろいろな方向から見たり(1)、飾りをつけて動きを確かめたりしながら(2)、動きを捉えている。(3)

・クランクの側面に穴を開けて動かす(4)、飾りの側から滑り出すような動きを生かす(5)など、仕組みの思いやりに応じている。紐やテープを使うことで動きの面白さを強調したり(6)、紐をスズランテープで結び絡み合わせるようにし、さらに前に紐を使って運動させたりするなど(7)材料の使い方を工夫している。(8)

・飾りや紐をいろいろな方向から動かせるように工夫している(9)。テンナゴが仕込んだりもついたりする様子を見たり、テンナゴが仕込んだりもついたりする様子を見たりして工夫を凝らす(10)。(11)

・つくりながら自分の作品を見たり(12)、鑑賞の機会に作品を誇りたりしながら、造形的な面白さや工夫を感じ取りたりしている。(13)

・主体的に動きを確かめながら、表すことや表し方を考えようとしている(14)。(15)

ポイント

● 針金を直線に曲げる
針金を直線に曲げるには、ペンチで針金を挟み、親指で挟んである部分を動かすようにして曲げる(図1)。針金を挟む、ペンチで曲げようとするとき、大きく曲線に曲がってしまう(図2)。

● 軸の接続
クランクの軸受けは、ストローを利用したり、段ボールの穴を利用して、厚紙を丸めたりと、いろいろな方法でつくることができる(図3、5)。

● 箱の大きさを小さくすると、軸受けが箱に当たって回転しないことがある。針金部分と軸受け部分を合わせて回転させるように注意する。

● 針金を曲げるときは、必ず針金の角を丸くするよう指導する。

● 針金を丸くするときは、必ず針金の角を丸くするよう指導する。

2) つくり方動画 ・ペンチ・ラジオペンチなど使用の動画12選 ・授業作品動画データ



こんなときに使える！

- ✓ どんな準備が必要かを確認したい
- ✓ 評価する子どもの姿や作品を理解したい
- ✓ 活動支援や安全指導のポイントを知りたい

指導解説編

「指導と評価の一体化」を
実現できる紙面構成



こんなときに使える！

- ✓ 目標に到達するための手立てを知りたい
- ✓ 指導と評価を一体的に進めたい
- ✓ 子どもの意欲を引き出したい
- ✓ 授業の展開例を具体的に知りたい

目標、手立て、評価の関連性が一目で分かる

3観点5項目の目標を示し、各項目ごとに手立てと評価規準例を解説しています。

くるくるクランク

学習指導案の簡略版を掲載しました。教科書紙面と合わせて授業の流れを確認することができます。

1) 知識及び技能

① クランクの仕組みを使って、楽しく動くものをつくる。

2) 思考力、判断力、表現力等

② 仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことから、新しいことを発想し、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。

3) 学びに向かう力、人間性等

③ 主体的にクランクの仕組みを使って、楽しく動くものを作る学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする意欲や態度を育てる。

材料・用具

● 材料・道具
空き箱、身辺材 など

● 針金
スチール針金 (18～20番程度)、ペンチ、ラジオペンチ、きり、板金、色紙、色画用紙、ストロー、竹くし、カッターナイフ、カッターマット、木工用接着剤、化学接着剤 など

評価規準例

● クランクの仕組みを使って、楽しく動くものをつくること、動きや形や色などの特徴を理解する。

● 表現方法に応じて身辺材などを活用するときに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫している。

● 飾りや紐をいろいろな方向から動かせるように工夫している。

● 主体的に動きを確かめながら、表すことや表し方を考えようとしている。

指導の手立て

● クランクの動きを捉えたり活動できるように、様々な方向から動きを見ながら考えたり、動かしながら飾りをつけていくように声をかける。

● 表現に適した方法などを組み合わせられるように、クランクの仕組みが分かる見本を用意し、つくり方を指導する。

● 針金の扱い方についての経験や技能を生かせるように、飾りつけの時間を設け、針金を軸に曲げる方法を丁寧に指導する。

● 表したいことを見付けられるように、クランクの仕組みを動かしながら見ながら、飾りつけや軸受けの付け方を、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。

● つくりながら自分の作品を見たり、鑑賞の機会に作品を誇りたりしながら、造形的な面白さや工夫を感じ取りたりしている。

● 一人一人がつくりだす喜びを味わえるように、友人と互いの作品を見合いながら、同じ仕組みから多様な表現が生まれることを確認できる時間を設ける。

授業づくりのポイントが分かる

安全指導、技能面でのつまづきに対する支援、気付きを促す発問など、実際の授業に即したポイントを解説。

準備物が分かる

基本の材料・用具のほか、事前に集めたり用意しておくとい材料や、活動の充実を図る材料・用具などを紹介。

「材料・用具の使い方」は電子ブックで

二次元コードから「材料・用具の使い方」の詳しい解説を参照できます。

「場の設定」のポイントが分かる

題材に応じた材料の配置や板書例を紹介しています。

授業の準備

● 材料・道具
空き箱、身辺材、針金、ペンチ、ラジオペンチ、きり、板金、色紙、色画用紙、ストロー、竹くし、カッターナイフ、カッターマット、木工用接着剤、化学接着剤

● 準備物の写真

● 場の設定

● 安全指導のポイント

● 技能面でのつまづきに対する支援

● 気付きを促す発問

● 事前に集めたり用意しておく材料

● 「材料・用具の使い方」の電子ブック

● 「場の設定」の板書例

授業の流れや発問例が分かる

授業計画では、授業の具体的な流れとともに、教師が授業中に発する言葉を示しています。

くるくるクランク

授業計画

1. 導入 (5分)

2. 展開 (25分)

3. 振り返り (5分)

発問例

● クランクの動きを捉えたり活動できるように、様々な方向から動きを見ながら考えたり、動かしながら飾りをつけていくように声をかける。

● 表現に適した方法などを組み合わせられるように、クランクの仕組みが分かる見本を用意し、つくり方を指導する。

● 針金の扱い方についての経験や技能を生かせるように、飾りつけの時間を設け、針金を軸に曲げる方法を丁寧に指導する。

● 表したいことを見付けられるように、クランクの仕組みを動かしながら見ながら、飾りつけや軸受けの付け方を、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。

● つくりながら自分の作品を見たり、鑑賞の機会に作品を誇りたりしながら、造形的な面白さや工夫を感じ取りたりしている。

● 一人一人がつくりだす喜びを味わえるように、友人と互いの作品を見合いながら、同じ仕組みから多様な表現が生まれることを確認できる時間を設ける。